

浅間山古墳(高崎市) せんげんやまこふん

これは南東側から見た倉賀野古墳群に属する浅間山古墳/前方後円墳/4世紀末～5世紀初頭の築造/左手前が前方部、右後方が後円部/前方部は2段築成、後円部は3段築成/葺石が施されていたという/主体部は竖穴系の粘土槨と推定されている



これは後円部を北西側から見たところ/右手に説明板が立っている





史跡
浅间山古墳

浅间山古墳
Asama Mountain Ancient Tomb

この古墳は、浅间山古墳群の一部として、昭和30年代に発見された。古墳の規模は、東西約10メートル、南北約5メートルと推定される。古墳の構造は、石積みの円形土壇上に、石積みの円形石室が築かれている。石室の内部には、埴輪や土師器などの随葬品が出土している。古墳の築造年代は、推定で古墳時代中期（5世紀後半）とされている。



墳丘周囲には盾形の周堀(内堀)が巡り、その外側には葦石をもつ中堤が築かれ、更にその外側に周堀(外堀)が巡っていたという

烏川左岸の段丘上に存在する全長一七一・五mの前方後円墳です。前方部は二段・後円部は三段の築造で、葦石(あしいし)をもちます。

墳丘周囲には盾形の周堀(内堀)が巡り、内堀の外周には葦石を持つ中堤が築かれ、その外側に周堀(外堀)が巡っていることが確認されています。

内堀の幅前方部全面で三〇・八mを計測し、外堀の幅は五六〜六五mであったと考えられます。同一段丘上には円墳である大山古墳(六〇m)・庚申塚古墳(四五m)、前方後円墳である大鶴巻古墳(一一三m)・小鶴巻古墳(八七・五m)などの古墳及び方形周溝墓が多数築造されており、浅間山古墳周辺地域が、古墳出現期から五世紀前半にかけて充実した墓域を形成していたことがわかります。

後円部の直径は一〇五m・高さ一四・一m、前方部の長さ六六・二m、高さ五・五mで、後円部の規模が前方部と比較すると、群馬県内では太田市に存在する大田天神山古墳(一一〇m)に次いで第二位の墳丘規模を誇り、西群馬県内では最大の前方後円墳です。

墳丘からは二次調整縦ハケ及び横ハケを施した円筒埴輪の破片が採集され、他に鱗付円筒埴輪や盾・鞍などの器材埴輪が発見されました。

主体部は、発掘調査が行われていないため不明ですが、竪穴系の埋葬施設が築かれていたと推定されています。

古墳が築造された年代は、墳丘の形状・盾形周堀の存在・埴輪の特徴などから四世紀末から五世紀初頭であったと考えられます。

(一) 葦石：古墳の墳丘斜面に敷いた石のことです。密接して敷き詰められることが多原則として墳丘斜面のみに敷かれています。

(二) 方形周溝墓：四角形の範囲を溝で囲み、この囲みの中に木棺や石棺などを埋めて人を葬る墓のことです。

(三) 鱗付円筒埴輪：筒状の埴輪を円筒埴輪と呼び、左右に長方形の鱗状の突起を持つ円筒埴輪を鱗付円筒埴輪と呼びます。

(四) 鞍：古墳時代の武具で武人が矢を背負って運ぶために使用したものです。



所在地 高崎市倉賀野町三三三他
指 定 昭和二年四月八日
指定面積 三二〇七二・九一m

高崎市教育委員会



左手を見たところ/周堀(内堀)の名残りが感じられる



右手を見たところ/この道路の高まりが中堤の部分ということであろうか



これは後円部の辺りから前方部方向を見たところで、墳丘が途中でくびれているのが見てとれる



これは南西側から墳丘全体を見たところ/右手前が前方部、正面後方が後円部



これは前方部の辺りから後円部方向を見たところで、墳丘が途中でくびれているのが見てとれる



さて、これは南東側から墳丘全体を見たところで左手が前方部、右手が後円部/前方部墳丘は低く、平坦になっている



正面は「くびれ部」/左手が前方部、右手が後円部



左手の前方部



右手の後円部



さて、「くびれ部」から墳丘を登ってみよう/「古墳はみんなで大切にしましょう」という立看がある



こちらが前方部



こちらは後円部



この先が「くびれ部」頂部



これは「くびれ部」頂部から前方部墳頂を見たところ



辺りは畑や果樹園に使用されているようだ/手前に小祠がある



これがその小祠



振り返って後円部方向を見たところ



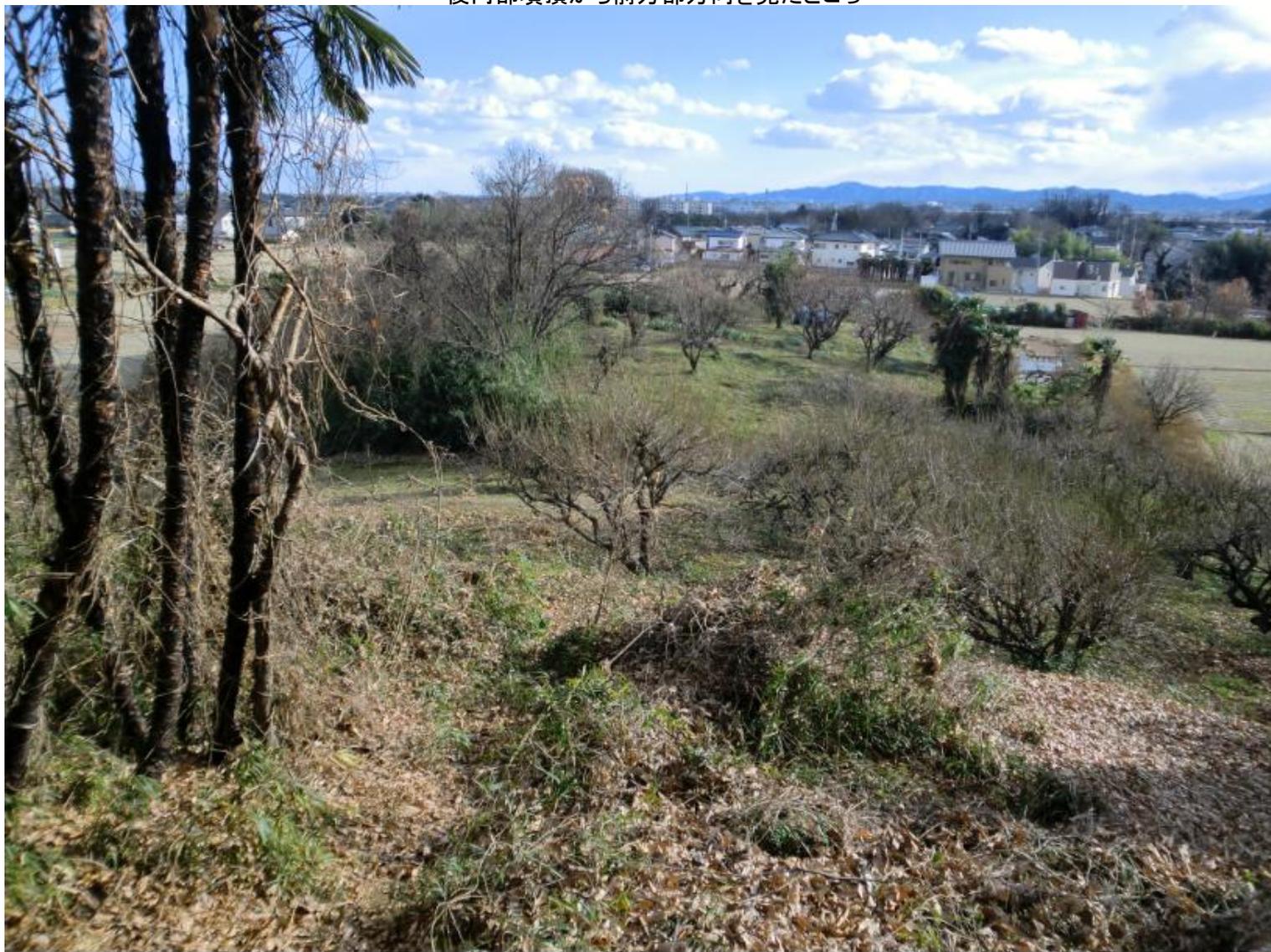
後円部を見上げたところ



これは後円部墳頂



後円部墳頂から前方部方向を見たところ



後円部斜面から「くびれ部」と前方部を見たところ



その左手を見たところ

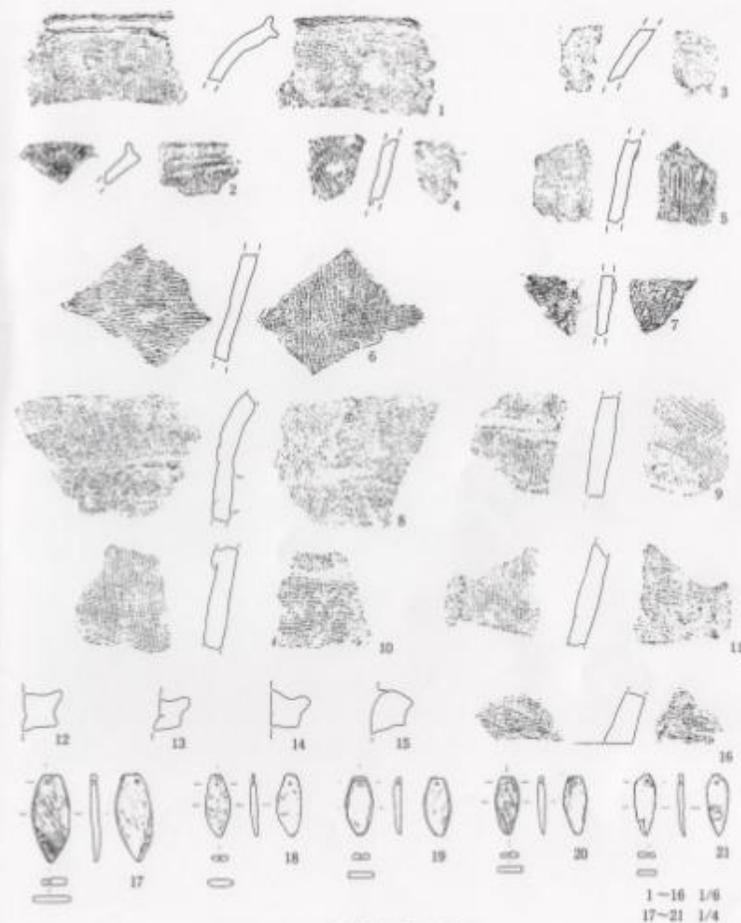




浅間山古墳を南西上空より望む



浅間山古墳



浅間山古墳出土遺物

1-16 1/6
17-21 1/4



浅間山古墳を南西上空より望む



大東文化大学オープンカレッジ/平成26年春期講座/シリーズ講座 郷土の歴史を学ぼう/フィールドスタディー-式内社と博物館の踏破及び見学- 資料より

参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/takasaki_sengen/

<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2013121600163/>

http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B5%85%E9%96%93%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3_%28%E9%AB%98%E5%B4%8E%E5%B8%82%E5%80%89%E8%B3%80%E9%87%8E%E7%94%BA%29

<http://blog.goo.ne.jp/hanako1033/e/5e261c39935480e856812411fff82515>

<http://members3.jcom.home.ne.jp/yoshi-cp/gkuragano.htm>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/takasaki/sengen.htm>

http://2nd.geocities.jp/txinui/kantou_kofun2.htm

<http://tigerdream-no.blog.jp/archives/8411989.html>

<http://obito1.web.fc2.com/takasakihigasi.html>

<http://homepage3.nifty.com/jh1eda/090827sengenyamakohun.html>

http://suzukura-02.at.webry.info/201006/article_3.html

http://www.v-kyouryokukai.jp/2011/07/2313201173_1.html

